

平成28年度 学校関係者評価報告書

愛媛県立松山南高等学校

学校番号(22)

全日制・定時制・砥部分校

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 学校評価全体について</p> <p>全・定・分それぞれに充実した教育活動が展開され、生徒が生き生きと活動している様子がうかがえる。学校評価の内容が以前よりも分かりやすく、工夫してまとめられており、学校のすばらしい取組が理解できる。</p>	<p>ホームページや学校案内等を活用して南高の魅力を発信し、中学生が南高に入学したいと思うようなPRをする。また、グランドデザイン・自己評価表等を使った情報提供にも努め、信頼される学校づくりを進めていきたい。</p>
<p>2 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導</p> <p>(全・定・分) 南高生はすばらしいと改めて思う。南高に来てよかったという思いを高め、いくことが自己肯定感につながる。南高生はインプットと同時にアウトプットして他から評価される機会を増やすことで、自信につながると思う。</p> <p>(全・定・分) これまで、砥部分校がこんなに魅力的な学校であるとは知らなかった。本校と分校が互いを知る機会を設けて、交流が図れるといいのではないか。</p> <p>(全) 普通科は、デザイン科のように特徴を出しにくい面がある。生徒それぞれが、英語でも何でも集中的かつ主体的に学習するような工夫をすることで、普通科の特徴を出す必要がある。</p> <p>(全) 昨年の全日制SSH研究成果報告会は学校で行われたが、本年度は校外の会場で行われるということで、楽しみにしている。</p>	<p>学習活動だけでなく特別活動等でも、他から評価されることで生徒が伸びるということは、本校・分校を問わず言える。生徒の活動を見ていただき、評価していただいたことが生徒の自信につながるように工夫したい。</p> <p>文化祭をはじめとする学校行事や学習活動等で、本校・分校の交流や協力について検討し、できることから取り組み、全・定・分のオール南高体制で協力し、互いに学び合えるよう盛り上げたい。</p> <p>生徒の学力や関心は多様であることを踏まえ、進路指導や学習指導などを通じてさらに学習意欲を高め、それぞれの生徒が主体的に学べるよう仕掛けをしていきたい。</p> <p>研究成果報告会は3月15日(水)に松山市コミュニティセンターで実施した。広い会場に1・2年生全員が集まり、本校及び宇和島東高校の研究発表を聞いたり質疑応答をしたりする貴重な機会となった。これからも研究の質を向上させるとともに、ポスター発表やプレゼンテーションの技術を高めたい。</p>
<p>(2) 生徒指導</p> <p>(全・定・分) 交通安全については、通学時の南高生のヘルメットの着用の様子やマナーはすばらしいと思う。この一年間大きな事故がなくよかったが、今後もこの調子で指導・点検を継続していただきたい。</p> <p>(全・定) 放課後の校外で見かける南高生の様子を見ても、南高生らしい節度ある振る舞いである。</p>	<p>交通ルールやマナーの指導を継続的にを行い、ヘルメットを着用し命を守る指導を充実させる。また、生徒の完全下校時間を厳守させ、交通事故防止の呼びかけにも力を入れるとともに、事故発生時の適切な対応についても指導を徹底したい。</p> <p>南高生としての自覚を促し、校外での節度ある態度について指導を継続する。</p>

<p>(3) 進路指導 (全) 今年度の進路決定状況はどうか。</p>	<p>現時点ではまだ進路決定状況の総括はできない。推薦入試、AO入試の出だしは昨年ほどではないが、高い志を持って難関大学に挑戦している生徒もいる。最後まで指導を継続して生徒の進路実現に努めたい。</p>
<p>3 その他</p> <p>(全・定・分) 学校評議員として招待された全ての行事に参加して、生徒の生き生きと活動する様子が伝わってきて素晴らしいと思った。定時制の生徒は何事にも一生懸命取り組んでいるし、砥部分校生徒の美術作品はいつも素晴らしいと思う。このような素晴らしい生徒の活躍する様子を、これからも外に発信して行ってほしい。</p> <p>(全・定) 教職員は疲弊しながら、様々な苦労がある中で頑張っていると思う。本校全日制の学校評価アンケート分析結果によると、22の項目で改善が見られる。教職員の評価は、生徒や保護者の評価より厳しいように思う。</p> <p>(全) 地域性が希薄になってきている今日、南高は地域と結びつくためにどのような努力をしているか。「地域創生」が叫ばれているが、県外の大学に進学した南高生が、地元に戻ってきて、「地域創生」に貢献してほしいと願っている。</p>	<p>特に定時制生徒1～3年生の出席率は90%と高く、教職員は親身になって生徒に指導・対応している。評価していただいていることはありがたいが、自己満足で終わることなく、生徒の頑張っている様子を外に向かって積極的に発信していきたい。</p> <p>教職員や生徒の過重負担にならないよう、スクラップ&ビルドを今後も心掛けていきたい。学校は、常に現状の改善を目指そうとして、やや厳しく評価をする傾向がある。学校関係者評価委員会をはじめ、学校内外の関係者に理解していただけるよう、客観的評価を心掛けたい。</p> <p>学校行事では地域の皆さんに来校いただいたり、中学校と連携したりして、地域とつながるよう取り組んでいるところである。実際には地元志向の生徒が多くなっているが、県外に出た卒業生が地元に戻り活躍してくれるよう望んでいる。松山市や愛媛県との連携も視野に検討したい。</p>